

山紫海碧

有銘幼小中学校
学校便り 90号
山紫に海碧く
H27.11.2



ひよこのふか

三・一。この数字を聞いて、あなたが思い浮かべることは何ですか。おそらく、多くの人が思い描くのは、東日本大震災ではないでしょうか。しかし、皆さんの中で東日本大震災を実際に体験した人は何人いるでしょうか。遠く離れたこの沖縄では、ほんの一握りの人達にすぎないはずだと僕は想像します。

しかし、皮肉なことに、遠く離れた沖縄で、これでもかというくらい流れてきた情報が一番必要としていた被災地の人々には、十分に届いていなかったのです。現地では放送局までが被害を受け、情報発信ができないう状況もあったようです。

情報が届かず、人々の間に不安が募っていた最中、ある地域では、避難場所を間違えて伝えてしまい、ますます混乱が広がった、というニュースも伝わってきました。

テロや紛争を企てる人達には「非暴力」と「平和」の尊さを、その犠牲者である難民達には、「勇気」と「支援」の言葉を、災害に襲われて、混乱して悲しむ人々には、「正確な情報」と「励まし」の声を届けた

僕は発信する

を連想するのはなぜでしょうか。それは、メディアの力と僕は思います。あの災害の発生した瞬間から、テレビ・ラジオ・新聞・インターネット等のあらゆるメディアが、来る日も来る日も大震災のニュースを流し続けました。

僕は、このような大混乱している時ほど、素早く正確な情報を伝えることが大切なんだと感じました。そう思っていてニュースを見聞きしている、アナウンサーの方々には緊急の場面で、とても冷静に聞き取りやすい、はっきりとした言葉で情報を発信していることに気づきました。

まず、世界各地で起こっているテロや紛争、そこから逃れて、さまざまな難民の問題がありま



山や台風による災害が多発し、これらの天災の他にも、強盗、殺人、放火事件等のニュースが流れ、恐怖と共に怒りを覚えます。僕は、これらのニュースを見聞きしながら、もしも自分がアナウンサーだったら、このニュースをどんな風に発信するだろうか、と考えます。

読書月間

先生方の読み聞かせ

三十日(金)の朝の活動で、幼・低・中・高学年と中学生ごとに五人の先生方による読み聞かせ会がありました。



わたしは、ひよこのたまごをあためています。なにであたためているかという、すいはんきであたためていま。ライトでてらしたら、ひよこのまごのようすが、みれるのでなかをみてみると、もう、めだまとからだができるいたので。だから、もうすぐ、うまれそうです。おかあさんが「もうすぐ、うまれそうだね。」といいました。たまごのなかから「どくん、ど

くん」とおとがしました。わたしは、もう、ひよこのからができていのかなあと、おもいました。わたしは、もうすぐひよこがうまれるから、うれしくてうれしくて、たまりません。ひよこは、おとこなのかなーおんななのかなーとたのしみです。ひよこがおおきくなったら、いんこみたいに、うでにのせたいです。一年学級通信より